

絆で育む三谷人の心

～地域の人との出会いとつながりを通して～

蒲郡市立三谷中学校

1 実践のねらい

本校の位置する三谷町は海と山に囲まれた風光明媚な土地で、三谷温泉や三谷祭など観光地としても名を馳せている。地域の人々の地元を愛する気持ちは強く、地域の子どもたちを見守る目も温かい。

本校の校訓「独立独歩」の下、地域との関わりの中で、生徒一人一人が視野を広げ、周囲の人に感謝と思いやりの心をもつこと、共に支え合って生きていることを実感しつつ、自ら進んで活動できるようになること、そして、三谷の一員としての心を育みたいと願い、実践に取り組んだ。

2 実践の内容

(1) 異世代交流会議「三谷地区未来創造会議」

生徒が仲間、学校、地域のことを思い、自ら考え、行動を起こそうとしたことを具現化するために、PTA や地域の方のアドバイスをもらいながら、協力してもらえるように交渉していく場として、異世代交流会議「三谷地区未来創造会議」を位置づけ、開催した(写真1)。それぞれの立場で知り得る情報や、大人としての見通し、アドバイスなどをもらうと同時に、地域・保護者の参加協力を得られる契機となった。



(写真1 活動を提案する委員長)

(2) 地域の自然との絆を育む取り組み

ア 大島清掃

毎年、学校の行事として取り組んできた大島清掃。大島の歴史を調べ、地区の昔話を掘り起こしていく中で、先人たちが必死の思いで三谷の財産にした経緯が分かってきた。また、未来創造会議での地域の大人との意見交換を通して、三河大島を自分たちも守っていきたいという気持ちが芽生えてきた。その結果、例年以上に意識を高めて本番に臨むことができた。清掃活動をするだけでなく、美しい花が咲く島にしようと、ハマユウの栽培や手入れも行った(写真2・3)。



(写真2 大島の海岸清掃)

イ 花いっぱい運動

福島ひまわり里親プロジェクトへの参加を契機に校舎外周ランニングコース沿いにひまわりを植えようという意見がまとまり、整美委員会が中心となり、ボランティアを募ったところ総勢130名を超えるボランティアが集まった。毎日の水やりも分担し、きちんと世話をしたおかげで夏には大輪の花を咲かせたひまわりロードが完成した(写真4)。ひまわりロードをきっかけに、もっと花いっぱいにしてほしいという気運が高まってきた。そこで、植える物、植える場所など三谷地区地域未来創造会議にアドバイスをもらいながら、芝桜の園を作る取組が行われた。整美委員、ボランティア、地域の人や保護者などで1500株もの芝桜を体育館周辺に植えた(写真5)。



(写真3 ハマユウの植え付け)



(写真4 満開のひまわりロード
の中を走る)



(写真5 芝桜の植え付け)

(3) 地域の伝統文化との絆を育む取り組み

ア 御殿舞

およそ200年以上前から地域に伝わる三河萬歳の御殿舞。2年生の希望者が、総合の時間にその舞を保存会の方に教えていただきながら練習している。保存会の方に伝統ある御殿舞を教わることにより、地域の伝統文化の奥深さを感じ取ったり、地域に伝わる芸能を大切に伝承していこうとする意欲を醸成したりしている（写真6）。

イ 三谷祭

学校朝会に祭保存会の方がきてお話をしてくださるなど地域の人も積極的に関わってくれる中、1年生から3年生までの男子が下校後、地区の公民館に集まり、祭保存会の方に教えていただきながら、篠笛や太鼓の練習に取り組んだ。祭当日は山車に乗り、祭り囃子を奏でた（写真7）。その他に三谷祭ポスターを作成し、公民館に展示していただいた（写真8）。



（写真6 祭礼で御殿舞を披露）



（写真7 三谷祭の山車の前で）



（写真8 三谷祭絵画展）

(4) 地域の人との絆を育む取り組み

ア あいさつ運動

アジア支援機構の池間哲郎さんによる講演会を行い、アジア貧困地域の子どもの実情を知った生徒たちは、未来創造会議に提案し、自治委員会を中心にユニセフ募金活動に取り組んだ。その際、地域の人にもアジアの子どもの実情を知ってもらおう、また、一日のスタートをいいものにしてもらおうと駅前あいさつ&募金活動に取り組んだ（写真9）。

イ 敬老会とのふれあい活動

1年生は学区の公民館に出かけ、敬老会の方たちと触れ合う機会を設けた。劇や大喜利などを披露したり、アトラクションに参加したりして地域のお年寄りの方たちと楽しんだ（写真10）。

ウ 地域ふれあい活動

三谷町内六区の各総代会が中心となって地域の触れ合い活動が毎年催されている。地域防災を意識した避難経路の確認や炊き出し訓練、クイズ大会や屋台など中学生も役割をもらい、地域の方と協力しながら取り組んだ（写真11）。



（写真9 駅前あいさつ運動）



（写真10 敬老会とのふれあい）



（写真11 非常食の炊き出し）

3 実践の成果と課題

未来創造会議や地域との交流活動を通して、地域の人たちに支えられていることを実感し、地域の一員としての自覚が生まれた。登下校でのあいさつが活発になるなど、地域の人との関わりを大切にしようとする姿も多く見られた。本活動が思いやりの心や豊かな心の育成につながったとともに、地域との絆がより深まってきたと考える。今後も、生徒と地域をつなぐ活動を継続的に進めていきたい。